

市民と議会との語る会実施報告書

日	時	11月17日(金)19時～
会	場	あいぱーく今立
出席議員		前田修治、小形善信、題佛臣一、大久保健一、佐々木哲夫、畑勝浩、橋本弥登志
参加者(市民)		8名
開会挨拶・司会・記録		司会：前田修治 議会報告：畑勝浩、小形善信 記録：佐々木哲夫
【1部】 定例会概要報告等 (報告者)畑勝浩		質問特になし
【1部】 議員報酬について (報告者)小形善信		Q:いくら上げたいのか。 A:まだ決まっていないが、できれば1割程度の意見もある。 Q:一般のサラリーマンとの比較はしているか。平均給与はいくらか。 市民の平均年収との比較もせずに、議員報酬の引き上げはおかしい。 報酬を上げたら、立候補が増加するという考えはおかしい。 これまでの選挙で、定員に対して1名増程度では難しいのでは。
【2部】 意見交換会 (1班) 進行：題佛臣一 記録：佐々木哲夫		1班 Q:高齢者問題が、地域にとっては大きな問題である。 A:市にも様々な支援制度があるので、気軽に相談してほしい。 Q:集落内における自治の体制が壊れ始めている。対策は。 A:確かにその通り。福井市では、集落の自治が厳しいところへの支援制度ができて いる。本市でもこれから検討されることになると思う。 Q:一人暮らしの家庭が急増している。対策は。 A:非常に厳しい。対策は今後の検討課題である。 Q:都市集中の国の政策はおかしい。 A:日本の政治方針に問題がある。地域を支える人々が育ちにくい。 Q:山林が、荒れ放題である。誰も関心を持たない。 A:今年、森林林業マスタープランを策定している。 Q:議員報酬は時給換算したらいくらか。また、福井市が異常に高い理由は。 日頃の議員活動が見えない。若い人が出てくる風土をどう作るかが課題。 A:時給換算はしていない。福井市は、県庁所在地と人口で高い。

<p>(2班)</p> <p>進行: 大久保健一 記録: 小形善信</p>	<p>2班</p> <p>Q:報酬は、議員の身分保障になっているのか。 A:4年毎の選挙なので、保証はない。 Q:議員報酬を上げるなら、福井市並みにすると後継者は出てくるか。 A:それだけ上げると、出てくるのではないか。 Q:自治振興会と総務委員会の語る会では、どのような課題がでたのか。 A:後継者不足、公民館の手狭、市からの委託業務が多い といった話であった。 Q:区長業務も多い。後継者不足である。それが課題である。 A:議会でも大きな課題になっている。 Q:森林環境譲与税の使いみちは、1本あたりの杉の木の伐採の保障を見てほしい。 安心安全というが、服間公民館は、水害にあったことがあり安心できない。 多目的ホールに冷暖房を入れてほしい。災害要支援対策は必要だが、地域には人がいない。 A:地域の現状を担当課も認識する必要がある。</p>
<p>(3班)</p> <p>進行: 前田修治 記録: 畑勝浩</p>	<p>3班</p> <p>Q:議員の報酬を語る会で論ずるのか。もっと地域や市民に関することが必要ではないか。 A:市民の理解を得るために、議題に挙げている。 Q:空き家に生えている草対策は。 A:市は、個人の土地の草処理はできない。地域や区で対応されたい。 Q:河川の草が原因で流れを止めて、溢れた。市に対応を依頼したら、草の捨て場所を提供したら、対応を検討するとのこと。困っているのに、その対応はおかしい。 A:現場を確認し対応するよう、総合支所に確認する。</p>

令和6年1月5日

越前市議会議長 殿

第3班 班長 前田 修治